



令和7年度  
Vol.4

# グリーンメール

鳴門藍住農業支援センターだより



～初の快挙！意見発表部門において経営局長賞を受賞！！～

令和8年3月5日(木)～6日(金)に東京都（国立オリンピック記念青少年総合センター）にて、「第64回全国青年農業者会議」が開催されました。全国の青年農業者が各自の課題発見・解決能力、意識の向上を目的としており、鳴門藍住地区農業青年クラブ連絡協議会から、笠岡来依夢氏、大島信作氏の2名が中四国ブロック代表として参加しました。

大島氏は、プロジェクト発表(土地利用型作物)において「農業版DIY～土地利用型作物 ver～」と題し、モノづくりとほ場づくりの観点から、地域や農業の課題を自分たちの工夫で解決する取り組み(農業版DIY)について発表しました。

笠岡氏は、意見発表において「つなぐ～農家のこだわりをお客様へ～」と題し、農業を始めるに至った経緯や就農してからの取り組み、今後の展望等について発表しました。

審査の結果、笠岡氏が意見発表部門において経営局長賞(第2席)を受賞しました。同部門における徳島県勢の受賞は初の快挙です。

これまでの活動や今回の発表を糧に、引き続き地域農業を牽引する青年農業者のさらなる育成に取り組んで参りますので、ご声援のほどよろしくお願ひします。



## 就農相談受け付けています

農業を始めるために必要な農業の基礎知識、経営・技術の習得、資金融資や農地などについて、不安や疑問に答える相談に応じております。気軽にご連絡ください。  
相談方法 電話、面談（来所の際は事前に電話でご連絡ください）

〒771-1220

徳島県板野郡藍住町東中富字舩傍示 2 9

TEL : 088-692-2515

FAX : 088-692-0355

# 農業ガールズコレクションを開催しました！

令和8年1月31日（土）に、イオンモール徳島 HIKARIコート(徳島市南末広町4-1)にて、「農業ガールズコレクション」を開催しました。この催しは、愛媛県や高知県の女性農業者と連携し、農業女子の取り組みや生産物の魅力を広く県民に紹介するとともに、消費者やバイヤーに商品を訴求することで販路拡大につなげ、さらに女性農業者の交流を深めることを目的に開催されました。

主な催しとして、女性農業者のこだわりの詰まった農産物や加工品の販売、県内で有名な「なると金時」や「わかめ」の詰め放題等のイベント、さらには「すだちくん」によるPRイベントが開催されました。このほかにも、焼き肉のタレや柑橘加工品等の出店グループもあり、当日は子供から大人までたくさんの方々に楽しんでもらうことができ、大盛況となりました。

今後も、幅広い世代の女性農業者が交流するイベント等を開催したいと考えています。



女性農業者こだわりの加工品



すだちくんとの交流



わかめ詰め放題



お疲れ様でした☆

## 徳島県公式LINEで「農業に関する情報」を発信しています

ステップ①



上記QRコードから徳島県公式ラインを登録します。

広報情報または右下の「受信設定」を押下します。(右画像参照)

ステップ②



「農業に関する情報」の「受信する」にチェックを入れ、送信を押下します。(右画像参照)

ステップ③

ステップ④



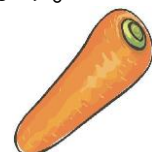
登録完了。補助金情報や病害虫発生情報等が受信できます。

## 3月の栽培管理

### にんじん

#### <収穫・温度管理について>

- トンネル内の昼温は23～25℃を目安とし、28℃を超えないよう管理しましょう。
- 乾燥したほ場では、ホモノハダニの発生に注意しましょう。  
薬剤防除としては、アフーム乳剤やサフオイル乳剤を活用し防除を行いましょう。
- トンネルは収穫前までかけますが、高温とならないようにして、にんじんの変質を防ぎましょう。
- 収穫後の高温・乾燥・蒸れは、変色及びつや低下に繋がるので、注意しましょう。
- 農業機械の安全使用と農作業の安全を心がけ、事故を防ぎましょう。



### れんこん

#### <ほ場清掃をしましょう>

- 越冬病虫害防除のため、茎葉や雑草を処分しましょう。

#### <土壌分析を行いましょう>

- 収穫が終わったほ場から土壌分析を行い、土壌中に肥料がどの位残っているか把握し、効率的な施肥に努めましょう。
- 石灰の施用量が多い傾向にありますので、土壌の石灰含量とpHに注意しましょう。



#### <施肥と植付けについて>

- 基肥は、土壌分析の結果を参考に、植付けの7～10日前までに全面に施しましょう。  
立ち葉2枚目くらいまでは、種れんこんの栄養で育ちますので、緩効性の肥料を選びましょう。
- 種れんこんは、1株2～3芽の無病のものをを選び、芽を傷めないよう、丁寧に植付けましょう。
- カモ対策として、植付け後ポリフィルムのべたがけやトンネル栽培などを行いましょう。

### にんにく

- 冬季の乾燥は収量・品質に大きく影響するので、土壌の水分状態をみながら、暖かい日の午前中に適宜畝間かん水を行いましょう。
- 寒害等による傷から病原菌が侵入し、春腐病や葉枯病が発生する原因となります。  
多雨多湿の環境で発生しやすくなりますので、2月末頃から定期的（2週間おき）にZボルドー等の銅剤を予防散布しましょう。大雨や風の強い日の後に散布することも有効です。また、水が溜まらないように排水管理をしましょう。
- 雑草の発生状況をみながら、除草剤を散布しましょう。



## かんしょ

### <育苗>

- 植付けは株間25～30cm、条間25～30cmとし、詰めすぎないようにしましょう。
- 育苗床の地温は、植付け後1週間は15℃くらいに設定し、その後20℃に上げるのが目安です。気温が低いと苗の活着や生育が遅れ、つるが伸びにくくなるので注意してください。気温は30℃を越えないように換気し、徒長を防いでください。乾燥しやすいので、十分なかん水が必要です。
- アブラムシ類、ハダニ類等害虫の発生に注意し、初期防除に努めてください。

### <本ぼ（作付け準備）>

- 土壌pHがやや低い（6程度）ほ場が見受けられます。土壌診断を参考に苦土石灰等を施用して矯正（最適pHは6.5～7.0）してください。
- D-Dの処理が遅い場合、芋の形状に影響が出る場合もあります。また、クロルピクリンの危被害が起こらないよう、クロルピクリン処理を早めに行う必要がありますので、D-Dの未処理ほ場は、早急に処理を行ってください。
- クロルピクリン进行处理する場合は、「クロルピクリン使用上の注意」を再確認していただき、事故が無いように注意してください。



## ブロッコリー

### <3月の管理（病害虫の発生に注意）>

- 気温の上昇とともに、病害虫の発生がみられるようになります。観察を十分に行い、発生初期に防除しましょう。特に外葉にべと病の病斑がみられる場合は、花蕾内のべと病の発生に繋がるので必ず防除しましょう。
- 出蕾期に多雨が予想される時は、花蕾腐敗病予防に銅剤を散布しましょう。
- とり遅れると品質を落とすので、適期収穫を心がけましょう。
- ほ場が乾燥すると花蕾の肥大が悪くなるので、適宜かん水しましょう。



## いちご

- 収穫が本格化し、株の負担が大きくなる時期です。
- 新葉の展開状況を中心に株全体を観察し、草勢が弱い場合は定期的な施肥や摘果で草勢を適切に保ちましょう。
- うどんこ病、灰色かび病、菌核病も発生しやすくなりますので、換気、早朝加温による湿度抑制、枯れ葉等の早期除去、予防的な薬剤散布などを行いましょう。

### <本ぼ管理>

- 3月上旬までを目安に電照を切りましょう。
- 草勢維持と病害虫の防除に努め、ハウス内の通気を良くしましょう（昼間20～23℃、夜温5～6℃で管理）。
- ハウス周辺は除草し、アザミウマ対策に努めましょう。
- 気温の上昇に伴い熟期が早くなるのでとり遅れのないようにしましょう。

### <親株管理>

- 3月からは特にハダニ・炭そ病対策を徹底しましょう。
- 3月中に親株へ追肥を行い、株やランナーの充実に努めましょう。

